

脳機能からみた認知症 —認知症の正体とその三段階—

エイジングライフ研究所副所長
高槻 絹子氏

お茶の水女子大学教育学科卒業 公認心理士
浜松医療センター脳外科で神経心理テストの開発・測定
早期認知症患者の評価・生活指導に従事
450を超える市町村での住民参加型認知症地域予防活動を指導

講師より 認知症の早期発見のためには、症状ではなく脳機能からみることが必須で、カギは前頭葉機能です。前頭葉のもつ多様な機能のうちの注意集中・分配力には正常老化の要因があり、この老化が加速され始めたときこそ、認知症の始まりです。今回は臨床から得た「認知症は予防できる」という光明につながるお話をしたいと思います。

令和5年10月7日（土）14：00～16：00（13:30開場）
会場：国際交流留学生プラザ4階 同窓会共用室& Zoom配信

参加ご希望の方は下記のQRコードからお申込みください。
QRコードから申し込みができない場合は、メール ouinkai.tokyo@gmail.com
電話、FAXでも受け付けます。

（社）桜蔭会（お茶の水女子大学同窓会）東京支部
〒112-0012 東京都文京区大塚 2-20-1-3階
TEL/FAX：03-5981-8026



申込みフォーム

入場無料、要予約 申し込み締め切り9月27日（水）
主催：桜蔭会東京支部